

## 会 議 録

会議の名称		指定管理者選定委員会（第36回）
事務局		企画財政部 企画政策課 企画政策係
開催日時		令和元年9月9日（月）午後5時57分～午後7時32分
開催場所		小金井市役所第二庁舎801会議室
出席者	委員	出席委員 4人 委員長 中村 孝文 委員 副委員長 菅原 温子 委員 委員 伊藤 茂男 委員 唐澤 寛 委員 欠席委員 1人 曾根 隆寛 委員
	選定アドバイザー	鈴木 輝一、間瀬 勝一
	指定管理者候補者団体	こがねいしてい共同事業体 5人
	担当課	コミュニティ文化課長 鈴木 遵 矢 コミュニティ文化課文化推進係主任 津 端 友佳理 コミュニティ文化課文化推進係主事 小 野 智 広
	事務局	企画政策課長 梅 原 啓太郎 企画政策課企画政策係主任 金 原 真紀子 企画政策課企画政策係主任 前 坂 悟 史
傍聴の可否		可 一部不可 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">不可</span>
会議次第		1 開会 2 令和元年度 諮問第2号 小金井市民交流センターの指定管理者の候補者の選定について 3 その他 4 閉会
会議結果		別紙会議録のとおり

第36回小金井市指定管理者選定委員会

日 時 令和元年9月9日(月)午後5時57分～午後7時32分

場 所 市役所第二庁舎8階 801会議室

出席委員 4人

委員長 中村孝文委員

副委員長 菅原温子委員

伊藤茂男委員 唐澤寛委員

欠席委員 1人

曾根隆寛委員

---

選定アドバイザー

鈴木輝一 間瀬勝一

---

指定管理者候補者団体

こがねいしてい共同事業体 5人

---

担当課職員

コミュニティ文化課長 鈴木遵矢

コミュニティ文化課文化推進係主任 津端友佳理

コミュニティ文化課文化推進係主事 小野智広

---

事務局職員

企画政策課長 梅原啓太郎

企画政策課企画政策係主任 金原真紀子

企画政策課企画政策係主任 前坂悟史

---

(午後5時57分開会)

◎委員長 それでは、ただいまから第36回小金井市指定管理者選定委員会を開催いたします。

なお、定足数につきましては、「小金井市公の施設の指定管理者の指定手続等に関する条例施行規則」第11条第2項に、半数以上で成立することと定められております。本日は5人中4人の委員の出席をいただいております。したがって、会議は成立しているということを御報告申し上げます。

それでは、事務局から本日の進行等についての説明をお願いいたします。

◎梅原企画政策課長 それでは、まず、資料の確認をさせていただきます。机の上には、本日の配付資料としまして、本日の次第1枚と、第1次審査で使用した評点票1枚を配付しております。不足等ございませんでしょうか。

それでは、進行についてでございます。第1次審査では、1団体が合格となっておりますので、本日は1団体での第2次審査となります。パソコン等の準備に5分、提出書類の補足的説明15分、その後、20分で質疑を行い、最後に15分で審査という流れになります。

なお、審査につきましては、団体が退出後、選定委員から選定アドバイザーに専門的な御意見をお伺いする時間を設けさせていただきまして、その後に選定委員の方に採点をしていただきます。

採点につきましては、評価項目、配点及び通過基準については、第1次審査と同様とすることを決定いただいております。通過基準について確認させていただきますと、評点票の「全区分の配点合計得点の60%以上」であり、かつ、「5つの評点区分ごとの配点合計得点の40%以上」の両方を満たしていることとなっております。

採点の際には、第1次審査の結果を基準に考えていただき、本日の団体の説明、質疑や選定アドバイザーの御意見を踏まえて、見直しをする必要がある箇所を直していただくという流れにしたいと考えております。

なお、審査の時間を15分としておりますが、状況によって延長も可能としたいと考えております。

このような流れでよろしいかお諮りいただければと思います。

◎委員長 ありがとうございます。事務局の説明が終わりました。それでは、選定委員の皆さん、審査の流れは以上のようなことでよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

◎委員長 ありがとうございます。では、事務局の説明のように決定いたしたいと思います。

それでは、「小金井市民交流センターの指定管理者の候補者の選定について」を議題としたいと思います。前回に引き続き、本日は第2次審査を行います。

「こがねいしてい共同事業体」をお呼びいただきたいと思います。

(「こがねいしてい共同事業体」入室)

◎委員長 本日はお忙しいところ、小金井市指定管理者選定委員会に御出席をいただきましてありがとうございます。

ただいまから、「こがねいしてい共同事業体」さんに対する第2次審査を始めたいと思います。

始めに、提出していただいております申請書類等に基づき、提案内容に沿って、15分で簡潔に説明をお願いいたします。終わる3分前に1回ベルが鳴ります。時間が来ましたらまたベルが鳴りますので、そこで説明は終わりということになります。途中であってもそこで打ち切

らせていただきますのでよろしくお願いいたします。

その後、各委員やアドバイザーから質疑応答を20分程度行います。

それでは、説明をお願いいたします。

◎こがねいしてい共同事業体 本日は、プレゼンテーションの機会をいただきまして、誠にありがとうございます。私は、代表企業であります、野村不動産パートナーズ株式会社、執行役員でPPP複合施設事業本部の本部長を務めておりますと申します。どうぞよろしくお願いいたします。

◎委員長 おかけください。

◎こがねいしてい共同事業体 失礼いたします。

私ども、こがねいしてい共同事業体は、代表企業である弊社、並びに構成企業である、サントリーパブリシティサービス株式会社の2社で構成し、竣工より本日まで、指定管理者を務めさせていただいております。

それでは、本日の出席者を紹介させていただきます。代表企業より、交流センター現施設統括責任者の、構成企業より本社文化ハピネス事業エグゼクティブマネジャーの、交流センター現館長の、現事業マネジャーのでございます。どうぞよろしくお願いいたします。

私どもの大きな強みは、ここまで築き上げてまいりました運営と管理の枠を越えてのチーム力と実績です。強みには、各社の持つグループ力もでございます。代表企業は長きにわたりまして武蔵小金井駅南口駅前の再開発を担っております、野村不動産のグループ企業であり、南口駅前のアクウェル武蔵小金井に加えまして、来年度、交流センター南側に誕生いたします武蔵小金井シティクロスの統括管理も担当いたします。

この体制を生かしまして、交流センターとアクウェル、シティクロスとつなぎ、街の活性化、シティプロモーションに貢献いたします。また、構成企業がサントリーホールを有しますサントリーのグループ会社であり、全国の公立文化施設で年間約250もの事業を展開しております。この、唯一無二のスケールメリットと企画力を生かし、市の文化芸術振興と、市民交流に力を発揮いたします。

私どもは、来期におきましてもチーム小金井として、相乗効果を創出し、交流センターの持つ効用を最大限に発揮させることをはじめにお約束いたします。

それでは、ここから具体的な提案につきましては、より説明申し上げます。

◎こがねいしてい共同事業体 現在、小金井市民交流センターの館長を務めております、でございます。よろしくお願いいたします。

私どもは、交流センター開館から、現在に至る8年余りを通じて、高い施設稼働率の維持、利用者が安心して利用できる安定運営、地域コミュニティの新しい広場機能、そして広域からの集客をはじめとしたシティプロモーションへの貢献に一定の成果を上げてきたものと考えております。

こうした8年間の積み重ねを踏まえた上で、今年の4月に、運営、管理、舞台スタッフの全員を集めて交流センターのあるべき姿、ありたい姿をテーマにしたディスカッションを実施しました。担当業務の垣根を越えて思いを伝え合うことで、市民や利用者の気持ちに多面的に寄り添うことができたとともに、我々が運営したい未来の交流センターの姿が浮かび上がってきました。

3期目を迎えるに当たって、私どもが大事にしたいと改めて感じているのは、市民交流センターという名称を体現することです。市民が交流を図る場、すなわち、地域に根差した施設、市民とともに歩いていく施設であり、市民と施設をつなぐものが幅広い文化的な芸術活動だと考えます。これこそが、市民協働と地域連携を軸に活動する理由です。劇場、音楽堂などの活性化に関する法律、いわゆる劇場法で、文化施設の役割として掲げられている、地域コミュニティの新しい広場機能をシティクロス、フェスティバルコートと一体的に展開する駅前コミュニティ広場機能へと拡大して、さまざまな目的で集い、行き交う人々に交流を促し、文化芸術との接点を増やすことで街の賑わい創出に貢献したいと考えています。

それでは、これより提案書の1ページ、様式1に記載しております、行動方針1～3に沿って今期の提案について説明させていただきます。

行動方針1は、小金井プライドの醸成です。先ほど述べましたディスカッションの中で、小金井市在住のスタッフから感じました、我が街小金井とでもいうべき熱量、それから、地元への強い愛着と誇りというものをシビックプライドという言葉ではなく、あえて、小金井プライドという言葉で表現しています。市民に交流センターを、我が街自慢のホールと感じてもらうため、文化・芸術で市民の心を豊かにすることで、小金井市民であることを誇りに思ってもらうための、主な芸術・文化公演事業については、提案書の3ページから9ページの様式3に記載させていただきました。

小金井にゆかりのある文化人にスポットを当てるフォーカス小金井シリーズや、市民参加型事業、市民団体との共同事業などの地域密着型と、一流のアーティストによる公演や、ホールの特性を生かした公演などの上質な芸術鑑賞型等、バランスよくそろえました。

7ページにあります、身体で聴こう音楽会は、東京2020オリンピック・パラリンピックで、社会包摂の機運が高まる今だからこそ実施する意義が大きく、地元のホールでこのような公演が行われることで、文化・芸術のバリアフリーに対する市民の意識の高まりにつながることを願っています。

また、15ページの様式9に記載しております、小金井コンシェルジュによる、レセプション業務ですが、開演前に「いらっしやいませ」に混じって、「いつもありがとうございます」という声かけが聞こえてくるのは、顔なじみのある小金井コンシェルジュがレセプションを務めているからこそその光景だと思っています。いつもの笑顔が出迎えてくれる安心感と信頼感、市民にとってまさに我が街のホールとなっております。

シティプロモーションへの貢献につきましては、22ページの様式16に記載しております。

交流センターで、小金井市のシティプロモーション資源を積極的に活用することは、小金井市の魅力を市外へ発信することはもちろん、市民に再発見の機会を提供することにもつながります。市民交流センターだからこそ、館内で「こきんちゃん」や、小金井市歌「光さず野辺」にふれる機会を増やし、小金井プライドを身近に感じてもらいたいと思います。

続いて、行動方針2ですが、こちらは小金井ネットワークの拡充です。小金井市は市民団体や文化団体、サークル、各実行委員会などの文化活動が非常に活発な地域です。3期目の活動の軸としている市民協働と地域連携には欠かせない存在です。私どもは、立場と役割を柔軟に変化させて、市民とともに文化芸術活動による街の活性化を推進します。

さまざまな文化の担い手と手を組み、協働することで、私どもが新たな御縁を結ぶ橋渡し役になり、市内のあらゆる場所で市民主体の文化活動が生まれ、育ち、根づいていくお手伝いができればと考えています。

提案書11ページの様式5～13ページの、様式7、こちらに主だった活動を記載しています。まず、11ページの介護福祉施設入所者をホールに招待する、ふれあいコンサート、13ページのキッズカーニバル小金井、こちらは3期に向けたトライアルとして今期から既に取り組みを始めております。特に、13ページのキッズカーニバル小金井は、実行委員会との共同主催で、50団体以上の市内団体が参加し、交流センターとフェスティバルコートを一体的に連動して実施したイベントで、市民協働と地域連携の両面において、3期目に掲げている駅前コミュニティ広場機能に向けた大きな成果となりました。

また、12ページの東京2020オリンピック・パラリンピック応援企画は、地域連携のエリアを市外にも広げ、中央線沿線の近隣公共施設との連携事業として実施する予定です。この企画は、構成企業であるサントリーパブリシティサービスと、東京藝術大学とのコラボで実現したオリジナル企画となっております。

行動方針3、こちらは小金井スペックによる、安定的な管理運営です。小金井スペックとは、代表企業と構成企業が両者の強みを生かしながら、運営面、管理面の垣根を越えて築き上げた信頼関係が支えるチーム力により、人、もの、金、情報の4つの経営資源を最大限に活用する、共同事業体の強さを表現しています。

14ページの様式8に記載しています、大ホール小ホール見学会の定期開催や、専門人材による利用者サポートなどは、小金井コンシェルジュと舞台スタッフがチームとなって利用者へ接し、それぞれの強みを発揮した総合力により、提案型サービスが実現します。

清掃業務においては、清掃スタッフとコンシェルジュ、運営スタッフの連携により、入れ替え時間の迅速な清掃や、館内美観保持の向上を効率的な人員配置で実践しています。

保安警備業務についても、中央監視室の管理スタッフ、警備スタッフ、コンシェルジュ及び運営スタッフで、いつもと違う違和感を感じたらリアルタイムで情報共有して、館内の安全・安心の確保に努めています。

さらに、3期目の新たな取り組みとして、19ページ様式13に記載させていただきました。

こちらのクリーンボランティア活動は、交流センターのスタッフがチーム小金井として参加します。

一方で、代表企業は予防保全の強化や、施設設備の経年劣化を踏まえた修繕計画による、効率的な施設維持管理に、構成企業は、利便性向上や施設稼働率を維持するための利用促進活動、友の会活性化などによる利用者拡大など、それぞれの強みを発揮することで、収支面での効率的な運営を支えます。

◎こがねいしてい共同事業体 まとめといたしまして、また私からお話をさせていただきます。

来期の提案を実現可能とするためには、運営管理組織を盤石なものにしなければなりません。24ページ様式18に記載をしておりますが、私どもは現在館長、施設統括責任者、支配人の名からなる統括部門を配置し、この下に施設管理、舞台、運営、事業の4部門をおいています。各部門には責任者をおき、指示命令系統を明確化し、積極的で柔軟な体制を実現しています。来期もこの体制で臨みます。館長には、施設統括責任者にはを統投させる予定です。また、ホールの肝と言える舞台部門は、を引き続き予定しております。各部門とも十分な力を有する人材を適正な人数で配置いたします。

さらに、各社の本社支援を一層強化し、質の向上を図ってまいります。市民とともに、全ての市民のために、この思いを常に前に押し出し、チャレンジ精神を忘れずに進みます。どうぞよろしくお願いいたします。

御清聴ありがとうございました。

◎委員長 どうもありがとうございました。15分以内で終わっていただきました。ありがとうございます。

それでは、ただいまから質疑に入りたいと思いますが、まず、質疑に入る前に、私のほうから1点確認したいことがございます。既に誓約書を提出していただいておりますけれども、役員の方々の中に、市長、それから副市長、教育長、市議会議員、本人又はその配偶者、2親等以内の親族のいない旨、間違いはございませんか。

◎こがねいしてい共同事業体 間違いございません。

◎委員長 ありがとうございます。

それでは、私のほうから1点伺いたいことがあります。今の御説明の中で、チーム力であるとか、それからチーム小金井という言葉もございました。それから、管理運営体制のところ、定期的にミーティングを継続しているということも既にかかれておりますけれども、今回、2社の共同事業体ということで、この2社の関係と申しますか、定期的なコミュニケーションというのか、そういうものについて、もう少し補足的に御説明いただけますか。

◎こがねいしてい共同事業体 私のほうから御回答申し上げます。まず、基本的に代表企業である弊社、野村不動産パートナーズについては、施設管理をメインに業務として分担しておりますので、基本的には設備管理だったり、舞台管理であったり、しいては清掃、警備などの管理をメインにしておりまして、一方、構成企業というのは運営や事業担当というのをメインの

分担業務として各社で業務分担をしております。

各社、強みもそれぞれ違う中で、こういった役割をしているんですけれども、ここは縦割りになり過ぎてしまうと、ただ単に一緒に業務をやっているにすぎないと思いますので、そこで、提案の中にもありました、舞台スタッフとコンシェルジュだったり、清掃スタッフとコンシェルジュだったりといったように、管理と運営の垣根を越えたミーティングというのを各種実施しております。そういった、垣根をなくすことによって、お互いに押しつけることなく同じ方針に向かって指定管理業務というミッションを遂行できるような関係というのを日々定期的にミーティング等を通して築き上げている状況でございます。

◎委員長 縦割りの部分が心配だったものだから伺いました。ありがとうございます。

それでは、委員の方々やアドバイザーの方々から御質問をお願いしたいと思います。大体20分程度質疑ということで時間をとりたいと思います。

では、どなたからでも結構です。よろしくお願いします。

◎委員 何点かお伺いしたいと思いますけれども、様式9なんですけれども、15ページのところにコンシェルジュのことが書かれておまして、受付案内業務を行って、平成30年度から大ホールでの自主事業の際のレセプションも兼ねているというふうなことが書かれております。それで、地元採用をやっていききたいということで書かれておまして、組織図の中では、受付のところで非常勤の方が■名という書き方をなさっておりますが、現状その■人の中で地元の方は何人ぐらいいらっしゃるのかということと、今後、同じような形で新規で採っていく予定があるのかどうかということをお伺いしたいと思います。

それから、先ほど説明はなかったんですけれども、友の会ということで、今年の7月現在■名というふうに書かれておまして、5年後までに■名ぐらいにしたいという目標が書かれておりますけれども、この固定客の囲い込みのような形になると思いますので、できればどんどん増えていったほうがいいと思うんですけれども、具体的にその■名から■名まで増やす方策みたいなものがあるならば、お伺いしたいと思います。

それからもう1点、11ページのところで、来年の6月、シティクロスさんのほうの広場ができあがるというふうなことが書いてございまして、もう少し具体的に、その広場と交流センター側の広場とそれから交流センター、そこを使って書いてある以外に何か具体的な事業等があればお伺いしたいと思います。

以上3点、お伺いします。

◎こがねいしてい共同事業体 3点については、構成企業が運営企画担当をしておりますので、こちらから回答を差し上げます。まず、1つ目のコンシェルジュの御質問に関してお答えさせていただきます。まず、現状のコンシェルジュの構成の中での、地元の方の割合ということなんですが、こちらはどうしても入替えが発生しますので、その中で増減は変わってくるのですが、現状は、今■名のうち■名ですね。

これは、今後もちろん採用をかけるときに必ずしも小金井市の方から応募があるかどうかと



いうのは分からないところではありますけれども、小金井市の出身だから採るということもなかなか難しいところではありますので、適性等々もちろん加味しながらではあります、やはり思いとか、熱意とか、そういったものを感じられて、当館のコンシェルジュという業務にやりがいを感じていただけるような人材であれば、積極的に活用していきたいなというふうには感じておりますので、今後の採用活動に関して、小金井市の出身であるということについては、我々としてはやはり比重は大きくしたいとは思っております。

あと、先ほどのコンシェルジュがレセプションистになる部分なんですけれども、通常受付をするときには■■■名大体■■■ポストというところなんです、レセプションистを実施するときは、受付もしながら大ホールのレセプションист業務も実施しますので、ここに関しては、現状の受付コンシェルジュにプラスして、以前受付コンシェルジュとして御勤務いただいていて、それぞれのご事情でお辞めになったりとか、今は別で働いている方もいらっしゃるんですけども、そちらで小金井市出身の方等々にお声かけをして、館のことはよく知っていただいている方々ですので、そういった方々をレセプションистの業務と一緒にやっていただくというような形で、市内のことも館をよく知っている方というのを活用しながら実施しているのがこのレセプションистのところにはプラスで加わってくるかと思っております。

それから、2点目の友の会のところです。ここは、今おっしゃっていただいたように、■■■■■■ぐらい現状いらっしゃいますが、今期の2期のところから■■■■■■名の目標はずっと立てているんですけども、なかなかやっぱりこれも出たり入ったりがどうしてもあるので、伸び悩んでいるところは正直あるんですけども、今回今期友の会の増員施策としまして、この提案書の中でもふれていますが、広報委員会という横断的な組織が友の会の運営組織を担う形にしまして、もう少し友の会のイベント、専用のイベントだったりとか、あとは入会促進のキャンペーンなんかも、今ちょうどやっているんですけども、新規の入会をしていただくと、チケットホルダーをプレゼントしますとかという、入会販促企画、それから、自主公演事業と連動させて、友の会の方の割引率が比較的高い、今期で言うと、ホールの響きシリーズという公演なんかは、ホールの音響のよさを生かした公演の内容にしまして、ここに友の会の方の割引率を少し大きめに、友の会の方であれば3,000円の料金が2,000円になりますという形で、ここはホールの券売のところ、収入面ももちろんなのですが、どちらかというとホールのよさを知っていただいて、交流センターのファンになっていただき、友の会の会員になって、このホールでいろいろな公演を聞きたいなというような方を増やしていきたいなという趣旨も、意味を込めた友の会の販促につなげるような自主公演事業、こういったものも、これは来期以降もつなげていきたいなと思っておりますので、友の会の方がいわゆる、この事業が見たいから、この事業があるから、その場だけで入るというよりは、やはり交流センターでやっていることが私はすごい応援したいとか、ここに私も一緒に参加したいとかという、ファンづくりというような意味合いのところを、今後は3期にかけては増やしていきたいなというふうには思っております。

こちらが、友の会について書かせていただいておりますのが、16ページの様式10のところの、友の会運営のところですが、ここの会員拡大に向けて行う取組というところで、新しく入れているこのファンミーティングというのを新たに実施したいなと思っています。友の会の会員様に向けた館との接点をつなぐ、それから、友の会の会員様同士の交流もつなげていくというような形の活動を強化していきたいというふうに考えています。

◎こがねいしてい共同事業体 シティクロスに関しましては、自主事業における活動としましては、まず1つ、もう既に共同主催、もしくは共催のような形で、市民の方々が実施されているいろんなイベントを、我々が一緒に活動させていただいているんですね。その方々、例えばキッズカーニバルですと50団体以上あるんですけれども、そういった方々とお話しをしていくなかで、今度できるシティクロスがオープンしたら、フェスティバルコートと市民交流センターのマルチパーパススペースと一体となったイベントをやりたいよねみたいな話はずっと出ておまして、そこの部分に関しては、これから私どもが中心となってどういう形であればシティクロスとフェスティバルコートと市民交流センター、駅前が賑わいを持ったイベントになるのか。今、既存のイベントがどういう広がりを持たせていけるのかということは考えております。

それ以外ですと、私ども単独の自主事業でいいますと、例えば、たくさんの方々が転入される、あるいは、たくさんの方々があそこにお勤めになりますよね。ですので、まずは、小金井市の風物詩として、例えば夏は阿波おどりがある。それから、薪能のイベントもある。今一緒にやったださっているキッズカーニバルもある。我々がやっている事業としては、そういったイベントが、どういうイベントなのかというのを、どこかの場所をお借りして我々が写真で展示をしたり、それから、関係する方に来ていただいて、ワークショップを実施したりと、小金井市がどういう街で、どういう活動をしていて、昔から何を大切にしているのかということをお我々自主事業のチームが積極的にそういったところをお借りして活動していきたいと考えております。

◎委員長 ほかの方、どうぞ。選定アドバイザーの方のほうから、何かございませんか。

◎選定アドバイザー 舞台関係のことですけれども、始めて以来、XXXXXXXXXXとおやりになっているということなのですが、ちょっとここ1、2年は知らないのですけれども、業務委託として共同事業体がXXXXXXXXXXさんに頼んでいるので、いろいろあると思うのです。人の入れ替わりと言いますか、少し前は結構それがあって、どうも習熟した方があまり残らないと言いますか、すぐに新しい方になってしまうということをお耳にしまして、特に去年なんかはいろいろ形で市民協働の作業が結構増えたと思うのですが、企画制作の面と、それから舞台の面ですね。その場合、舞台関係というので、実務的な形でホールの中でやるということ自体はできる方を派遣していただいていると思うのですけれども、それだけでないいろいろな可能性含めたまとめる力というのが、舞台の形では必要だと思うのですが、そういった対応のできるスタッフの要請を、ぜひしていただきたいという気がします。これは希望ですが、それについてはどうお

考えでしょうか。

◎こがねいしてい共同事業体 今回の御意見というのは、私も前任から引き継いでおりまして、その背景というのは確認しました。昨年度の入替わり、要員の入替わりだけで言いますと、正直■名の若手社員が入ったんですけれども、ちょっと交流センターにフィットしなかったというところがありまして、その■名に関しては正直昨年中入れ替わりが発生しました。それ以外のメンバーについては、前年度から引き続きという形で、ホールを熟知した人間が踏襲するような形で1年間運営をしてまいりました。今いただいた御意見のような部分というのは、特に市民文化祭なんかがいい例だと思っています。

実は、今年の4月に責任者も■名異動がありました。後任を選任する際に、その辺の市民との接点であったり、市民の活動の促進という面を考慮した形で人員選定をしたいという希望を申し上げまして、その後任は、もともと自分も出演する側だったという人間ですので、出演者の気持ちというのをより理解できる人間だと私は思っております。

そういったものが市民文化祭で例えば形式ばったホールとの打ち合わせだけでなく、その前段としてより良くしていくにはどういった市民の方、実行委員会の方が動きができるかというのを形式ばった打ち合わせの場以外にも小金井市さんにも協力をいただいて、別途設けさせていただいて、その辺の距離感というか、溝というのはどんどん少なくできるようにというのは昨年からは順次取り組んでいる状況です。

市民育成という面においては、先ほどから話に上がっているキッズカーニバルというところも、実は今年からホールで実施した経緯があるんですけれども、その部分でやはり交流センターで初めて大規模なイベントを実施する中で、やはり市民の動きというのが不慣れな方が多かったり、あるいはいなくちゃいけない時間になかったり、いろんなイレギュラー業務が発生したというのは、当館の事業担当も目の当たりにして、そこについてどういうアドバイスですとか、育成ができるかというのは、来年度以降の課題だということで、すごく認識した第1回目だったというふうに考えております。

◎選定アドバイザー あのときは■さんの外部スタッフはお願いしたのですか、具体的に。

◎こがねいしてい共同事業体 キッズカーニバルですかね。あそこは増員ではなかったです。あくまで当館の専属スタッフと、あとは事業担当ですとか、その辺というのが間に入って、ホールとその団体との距離というのをうまくつなぐような役割、なので、舞台スタッフもそうですけど、事業担当者としても、その辺の育成というのを重要なミッションだと捉えておりますので、そこを課題に上げつつ、そういった市民の大規模なイベントというところをまず軸にして、そういった育成ですとか、アドバイスですとか、ノウハウの共有というのをしていければいいのかなというふうに現在は考えております。

◎選定アドバイザー 分かりました。

◎委員長 それでは、ほかの方、いかがでしょうか。

◎委員 収支のところの数字で、支出の中でちょっと教えていただきたいんですけども、その他の中で、本社管理費■■■■計上されていますけれども、これについてコメントが何もなかったもので、どういったものが含まれるのか教えていただけますでしょうか。

◎こがねいしてい共同事業体 本社管理費で計上しているものなのですが、拠点の運営をしているスタッフがもちろん現場の運営をするんですけども、本社のサポート機能もやはり連携をとりながらやっている部分もありますので、そこは経理部分であったりとか、あとは、本社からのいろんな事業だったり運営する中で支援を受けながら、相談しながらいく部分だったりとか、あとはシステム管理のところでは本社のシステム部と連携しながら管理運営をしていくところと、セキュリティ部分の管理などが、本社からの支援を受けながら拠点のところで管理をしているというところがありますので、そこにかかる費用という形で計上させていただいております。

◎委員 そうすると、本社の人件費であったり、そういうシステム利用料というものが按分という形で入っているということですか。

◎こがねいしてい共同事業体 おっしゃるとおりです。

◎委員 ありがとうございます。

◎委員長 ほかにはいかがでしょうか。

◎委員 ちょっと確認なんですけれど、野村不動産パートナーズ株式会社と、野村不動産リフォームが合併して、野村不動産リフォームはもうなくなっているんですよね。

◎こがねいしてい共同事業体 なくなっております。

◎委員 この、2019年3月期の決算書は、これは合併後ですかね。野村不動産パートナーズ。これは合併後の貸借対照表。

◎こがねいしてい共同事業体 2019年3月期です。

◎委員 これは、合併後ですか。

◎こがねいしてい共同事業体 合併後です。

◎委員 そうですか。今回のここの管理をするに当たってもそのリフォーム部門というのは関係はあるのでしょうか。

◎こがねいしてい共同事業体 リフォーム部門は関係ございません。

◎委員 これまではリフォーム部門も入っていたけれども、もう入らなくても大丈夫ということですか。

◎こがねいしてい共同事業体 そういう意味では入ってございません。運営には携わっておりませんので。

◎委員 合併したので、それをつけてくれたということですね。資料として。

◎こがねいしてい共同事業体 そうです。申し訳ございませんでした。

◎委員 分かりました。私も事情を知らなかったものですから。

◎こがねいしてい共同事業体 失礼いたしました。

◎委員長 何かほかにございますか。ないようでしたら、これで質疑を終了としたいと思います。ありがとうございます。

これをもちまして、「こがねいしてい共同事業体」に対する第2次審査を終了といたします。

なお、審査結果につきましては、後日担当課より文書で通知がありますので、よろしく願いいたします。ありがとうございました。

(こがねいしてい共同事業体 退室)

◎委員長 それでは、これから選定委員の方々から、選定アドバイザーのお2人に確認したい事項とか、それから、意見を伺いたいことがあるかと思うんですが、そういうものがあればお2人に伺っていただきたいと思います。

なお、お2人のほうで補足することがあれば、それも併せてお願いしたいのですが、私のほうから伺っても良いでしょうか。

アドバイザーのお2人にお伺いしたいのですが、先ほど友の会のお答えがありましたけれども、あれについてはどんな印象とか御意見をお持ちですか。

◎選定アドバイザー 単なる囲い込み、割引チケットを買ってくれる市民を囲い込むだけの友の会というのは大変多いんですけども、もう一步前へ出ようとしていらっしゃるよね。友の会の会員同士のコミュニケーションをとろうよということだとか、それを会員のための何かをやりたいという。これは手間とお金の大変かかることなので、どういうふうにやるのかなとは思いますが、単なるチケットを買ってくれる人の集まりから、次のステップへ行こうとしているという努力は感じます。

◎委員長 なるほど、ありがとうございます。

◎選定アドバイザー できるかどうかは、それはチェックしておいていただけたらいいかもしれません。

◎委員長 ほかの方、どうぞ、自由に御質問してください。

アドバイザーのほうからも、何か先ほどの質問に関して何かあればお願いします。

◎選定アドバイザー 先ほど、私がちょっと専門的な発言をしたのですが、この間のカーニバル、私も見に行きました。それで、やっぱり捌きが、あんまりプロが仕切っていないという感じだし、音もちょっと、というふうに思って、頼んだのかと聞いたのです。

██████████は完全に専門家ですから、音響、照明も、主としては照明ですけどね、これをやっていたらいいので、その団体そのものは信用できる団体なのですが、要請の問題もありましてね。通常要請すればお金を払わなきゃいけませんけど、来てもらえるんですよ。そういうやり方をしたのかなと思ったのですが、そういうやり方はしていないみたい。予算がかかることなんですけど。

それから先ほど言った、人がころころ変わってしまうというのがあって、要するに、今の大ホールというのは、クラシック中心なので、オペレーションは簡単なんですよ。クラシックが一番オペレーションがないんですよ。反響板を設置して、明かりをつけて、マイクは使いませ

んから、どうぞというものが主ですよ。ということは、舞台、音響、照明というのが、今は映像もいますけど、ここにはないので、この3つの分野のプロフェッショナルというのがそれなりに配されるのですが、小ホールではさまざまなことをやりますからよくやるのですが、どうしても小さいから割と簡単だということで業者のほうでは新人を送り込んでますよ。今回もやったらいいですね。さっき聞いたら、■人が来たけど合わないというのは今年の春に来たけど合わないから、変わったという意味かな。これは、やっぱり、権限的に言えないですよ。市のほうにしても、何か問題があれば、だめだって言えばいいんですけど、クオリティーみたいなことに関係するのですけどね。

◎選定アドバイザー 今回の問題、結局委託に出しているっておっしゃっていましたよね。

◎選定アドバイザー 舞台をね。

◎選定アドバイザー 舞台スタッフを委託に出して、この2社の中には責任を、指示はできてもちゃんと責任がとれるかという体制としては厳しいです。ただ、これが一般的です。特殊なんじゃないんです。舞台の上って、準備をするときと、終わって片付けて、トラックに載せるときというのが一番事故の発生率が高いんですね。随分多くけがをしているんです。それをどうするかというと、やっぱり、きちっとした指示が、会社がやるのではなくて、組織として言えるかどうか大きな、今までずっと課題になっていたんですね。

要するに、そういった危険性があるので、フルハーネスを着けるかどうかは別として、舞台の上のウインチというのがあって、その上に乗かって作業をするんですね、照明を合わせたりとか。あと、横にも高いところがあったりするんですけど、そこからの転落というのが、ここ数年前に1人死亡している例もあったと思います、舞台スタッフが。結構死亡事故も含め結構多いんですね。ですから、今、舞台スタッフの世界ではヘルメット着用は必須、安全靴を履くのも必須で、昔は足袋草履といってね、草履で舞台の上を闊歩していたんですけども、大道具さんなんかは。それも今は禁止になりました。なので、国立劇場でもその方向で今はやっています。それを、地方の小屋でも普及しようということで、今努力しておりますので、そういうような指示が、館長以下こちらのチームの運営スタッフの責任者から出せるかどうか。

◎委員長 通常の外部委託をする場合には、指示が出せるような仕組みになっていないと、コントロールできなくなってしまうわけですか。

◎選定アドバイザー サントリーさんは舞台の内容的なプロなんですね。野村さんのほうはいわゆるビルメンテが中心なのですが、舞台スタッフは野村さんの下についているんですよ。というふうに最初から組んでいるんですね。我々がどうのこうの言う話ではないですよ、どう組もうと。野村さんの下にいるので、サントリーさんの下じゃないんですよ。この体制はどうかできるような話じゃないので、何らかの形でいつも釘を刺そうと思っているのですが、ころころ変わるんですよ、人が。特に易しいという言い方をしたのは、芝居なんかと比べてということですよ。せりふがこうなったり、転換があったりというふうなことがそんなに多くない。ということは大丈夫だろうと思って、会社は送り込んでしまうということですね。

◎委員長 そうすると、そういう問題が発生した場合には、運営協議会で修正は可能なんですか。

◎選定アドバイザー 年に2回しかないので、そのときに人がまた変わったよねということで、要請をしたりしたこともあったんですけど、そう突っ込むわけにいかないのですよね。むしろ、個人的に館長のところに行って、もっとちゃんと頼みなさいよ、というようなことを言うてはいたんですけど、なかなかね。だから参考意見でもよろしいんですが、先ほど言った意見を、私が申し上げた協働の作業が増えれば増えるほどやはり危険性も増えるし、それから舞台成果とあるいはできあがりということを混乱しない成果を上げるためには、舞台ってかなり重要なので、それを充実させるようにというようなことの要望を出していただくのありがたいかなと。

◎委員長 分かりました。ありがとうございます。

◎選定アドバイザー もし書いていただけるとすると、7ページに身体で聴こう音楽会というのをに入れていらっしゃる。これ、初めてのようなんですけど、全ての市民の中には障がい者が当然いる。とすると、これは身体で聴くということで、主に聴覚障がいなんですけれども、でも視覚障がいの方が音楽会に来る、演劇を見に来るというのは入っていないんですよ。ここでおやりになるということは僕はとてもいいことだと思います。これを、どう将来展開させていくのかという、そこに期待したいというようなことをぜひ書いていただくのいいのかなと思います。

今、実は、耳の不自由な方たちが、お芝居を観に行ったり、音楽会に行ったりというのは大変法律でも後押ししてくれていますけれど、加えて、今度は障がいのある方が舞台に実際に乗って、何かをやるということに、これも法律を作って、後押しを始めました。特に障がい者の方の絵画ですよ、それが売れるマーケットができないだろうかというようなことを言っています。だから、障がいのある方の描いた絵が、山下清さん以外はほとんど生活ができていなかったんでしょうか、今も若い方は描いていますけれども、そういうマーケットがあれば、そういう人たちというのは生活ができるのではないかと、障がいをお持ちでも。というようなのを、今、国のほうとしては、法律でうたい始めましたので、そこまではなかなか難しいと思うんですが、今回聴覚だけではなくて、視覚だとか、発達障がいだとか、さまざまな障がいに対応できるような公演ですよ、コンサートであったり、そういうことをこれをきっかけにぜひ広げていっていただきたいと思います。

◎委員長 ありがとうございます。ほかに今日の団体の優れた点があれば、1つ2つ御指摘いただければと思うんですが。

◎選定アドバイザー サントリーパブリシティサービスという、ルート、ネットワークを持っているという長所と、ビルメンテのプロである野村と、組んでいるという、もともと選んだときの、それぞれの専門性や強みがある点だと思います。今回の提案に関して言っても、これまでの延長線上にあるような形なので、取り立てて今回特別という点はなく、ちょっと言いよう

がないのですが、無事によくやってきた実績という点でしょうか。

◎選定アドバイザー 私は今回の提案を見せていただいて、また今日のお話を伺って思ったのは、こがねいプライドというこのテーマを、職員全員でミーティングをして作っていったという、そこに僕も一緒にいなかったからどんな状況かは分かりませんが、ただ、この姿勢はすごくいいことだと思いますね。

往々にして、さっきの舞台スタッフは委託だからとか、研修会にも出さないみたいな、呼ばないというのかな、そうではなくて、みんなで意見を出しあってこのホールを将来どうしようかという、それを出してきたところから、このこがねいプライドという名前を使ってきたという点は良いと思います。

やはり、私はホールのスタッフというのは、清掃から警備から、館長まで全員がチームだと思っていますので、そのチーム作りを一生懸命しようとなさっているんだろうと思うんです。

◎委員長 チーム小金井という言葉がありました。

◎選定アドバイザー 言っていましたね。まさに、これは私が以前やっていたときも、ずっとそれを使っていました。それはもう市民の企画委員から直接契約はしていないビルの清掃のスタッフも一緒になって話を聞いたりとかという、まさにそれをこちらがおやりになろうとしているということと、あと、小金井コンシェルジュというこの考え方が、だんだんと定着してきたかなと思います。レセプションにも一緒にやってというようなことですから、受付業務をやりながらそれもやるというのも大変だろうと思うんですけど、たしかコンシェルジュってこれは一番最初から提案が出ていましたよね。だんだんと定着してきたのかな。

◎選定アドバイザー 一番最初は概念だけでしたね。概念で、コンシェルジュみたいな形でレセプションを育てていきたいみたいなレベルだったんですけど、それをある程度着実にやってきたんでしょう。

◎選定アドバイザー こちらのオープンのとときに事業企画ワークショップというのをオープン前4年か5年ぐらいやっているんですね。そのときに一部分コンシェルジュになろうかみたいなとか、それからレセプションになろうみたいな、そんなようなチーム分けをして、事業を企画したり、裏方をやったり、表方をやったりというのをやっていたんですよ。そういうのもSPSさんも御覧になっていたんですね。レセプションの研修は、たしか、SPSさんから来てもらってやったと思う。

◎選定アドバイザー 多分4年前か5年前に、私が館員全員に対して舞台に対する講習をやったのですが、その後に聞いたのは、それから2年ぐらいして、SPSのほうで内容のレセプション講義は受けさせています、という言葉だけ聞いたんです。ただ、それは事業内容だったんですよ。レセプションについてどうかは、ちょっと分からないんですけど。

◎選定アドバイザー でも、お得意ですからね。

◎選定アドバイザー あと、ついだから言いますと、褒めるというんじゃないですけど、館長も含めて、ちょっとビルメンテのほうはよく分かりませんが、みんな新しい人なんですよ。



1年前には中心にはいなかったのです。だから、一生懸命まとめようとしていると思うんですよ。

◎委員長 そのあたりの仕事の受け継ぎというかそれはきちんとできているんですかね。

◎選定アドバイザー 結局、国内にいますので、その方々、年に何回かは全体の会議というのがあるって、SPSさんのそういう会議にいつも出ていらっしゃいますので。

◎選定アドバイザー そういう意味では、サントリーさんの強さがあるんですよ。そういういろんなことをやっているから、彼らも分からなかったら他に聞けるというのがあります。それが強みですよ。

◎選定アドバイザー そういう点では野村さんもそうだと思うんですが、その会社の持っているネットワークを割りと生かしているチームでしょうね。そこが障がいのある方への事業に少し目を向けてこられたとか、市民参加にだんだんと手をつけ始めたとか、僕は前進してきたかなというふうには思っています。

◎委員長 分かりました。ありがとうございました。以上でアドバイザーへの質問はよろしいでしょうか。ないようでしたら、ここでアドバイザーのお2人は御退席となります。貴重な御意見をありがとうございました。

(選定アドバイザー 退席)

◎委員長 それでは、採点に移りたいと思います。

評点は、変更する場合は二重線で、赤字修正をお願いします。赤のボールペンがあると思います。修正が終わった方から回収しますので、挙手をお願いいたします。

その後、集計のために休憩をしたいと思います。

(採点)

◎梅原企画政策課長 それでは、集計させていただきますので、少し休憩とさせていただきますと思います。

(休憩)

◎委員長 それでは、再開したいと思います。採点を行っていただきましたので、その結果について、事務局のほうから報告をお願いします。

◎梅原企画政策課長 小金井市民交流センターの指定管理者の候補者の選定に係る、第2次審査評定票の、4人の委員の合計点につきましては、こがねいしてい共同事業体が合計474点となりましたことを御報告いたします。

各区分ごとの合計は、「事業者の現状・実績・管理運営方針」は、合計103点。「芸術文化公演事業の具体的な業務」は、合計79点。「その他の具体的な業務」は、合計78点。「サービスの向上」は、合計95点。「効率的な運営」は、合計119点。

以上の結果、第2次審査通過基準である全区分の配点合計得点の60%以上、つまり、360点以上であることと、各区分ごとの配点合計得点の40%以上を上回りましたことを御報告いたします。

◎委員長 ありがとうございます。

今報告がありましたように、第2次審査通過基準を上回りましたので、こがねいしてい共同事業体を小金井市民交流センターの指定管理者候補者として選定したいと思いますのですが、御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

◎委員長 ありがとうございます。それでは続いて、こがねいしてい共同事業体を選定するにあたります、優れている点、それから要望ですね。こういうものについて、決めたいと思います。では、一旦休憩したいと思います。

(休憩)

◎委員長 では、再開いたします。

それでは、優れた点として、一つ目は、団体を構成する事業者が、事業の企画・運營業務と施設の管理業務をそれぞれ専門としており、互いに強みをいかした安定的な運営が見込まれること。二つ目は、これまでの指定管理業務の実績から、本市の文化・芸術活動を更に推進させることが期待できること。三つ目は、「こがねいプライド」を意識した取組をスタッフ全員が共有し、一つのチームとして活動している姿勢に、今後の新たな展開が期待できること。これら3点を優れた点として答申したいと思います。よろしいですか。

(「異議なし」の声あり)

◎委員長 ありがとうございます。

それから、続いて、要望事項ですね。要望事項については、一つ目は、スタッフを含め、舞台における安全性には特に配慮していただきたいという点、二つ目は、安定した管理運営が行えるよう、熟練した舞台スタッフを配置していただきたいという点、三つ目は、委託先を含め、責任の所在を明らかにしつつ、連携のとれた管理運営を行っていただきたいという点、4つ目は、あらゆる障がいに関心した自主事業を検討していただきたいという点、以上4点の要望ということです。これもよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

◎委員長 ありがとうございます。

それでは、文言の修正等については、委員長に一任していただくということでよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

◎委員長 ありがとうございます。それでは、ただいまのとおり答申をいたしたいと思います。

ほかに、何かございますか。よろしいですか。

それでは、本日の議事は以上で終了ということにいたします。閉会といたします。

どうもありがとうございました。

(午後7時32分閉会)